

而して二月三日に至つて自治會の共同三、概成聯合の高
山氏表訪、石澤勸代表顧問、概成聯合の協賛
會を組織することについて賛同を求められた。協同會とし
ては、英の監督には賛成するもの、上野の如く諸國杯と
つきの結果未定を疑はる後、本年は既に時機が来り、交
渉の結果不可なる旨を述べ、了解を求め併せて將來
的協賛機關に依つて決定する様努力したい旨を述べ
(附記)

本件に附しては既取給同盟通信第一号又は「労働」三月号所
載の本部事務會議報告を参照

三、英國總同盟罷業應援の件
本年五月四日英國總同盟罷業勸告するや、アムステル
ム労働組合國際聯盟のオランダ、ベルギー、フランス、
ドイツ、オーストリア、スウェーデン、デンマーク、

的並に既取の應援を依頼し來つた。よつて國際部は本部事
務會議を召集して次の如き対策を取つた。

- 一、英國總同盟罷業對策
イ、英國労働組合會議に應援電報をうつ
- ロ、オランダ、ベルギー、フランス、ドイツ、オーストリア、スウェーデン、デンマークに對する國內的方針
- 二、英國總同盟罷業應援に對する國內的方針
- イ、日本労働總同盟英國總同盟罷業應援特別委員會を作る
- ロ、と

口、應援資金の募集
ハ、同盟労働組合會議に對して協同的應援を提議すること
ニ、労働界外として英國總同盟罷業應援會を發行すること
ヲ、斯くして總同盟の活動は開始せしめ、其後再三英國又は
ア、ハステルケムとの間に電報通信の往復あり、又、國際部
ハ、労働五月号六月号誌上に、英國總罷業又は炭坑爭議を組
介して出来得る限りの理解に努めた。